

2年に1度は乳がん・子宮頸がん検診を受けましょう

日本人のおよそ2人に1人ががんにかかる時代です。
がんの早期発見や早期治療につながるがん検診を受けましょう

問 保険健康課 ☎84-0327

乳がん

乳がんってどんな病気？

乳がんは、乳房の乳腺組織にできる悪性の腫瘍です。

日本人女性がかかるがんの中で最も多いのが「乳がん」で、約11人に1人が乳がんにかかる可能性があります。

一般的に、乳がんになる人の割合は、20歳代から徐々に増え始め、40歳代後半から50歳代をピークとして、その後減少する傾向にあります。

早期発見・早期治療で

治療率が高いのが乳がん

乳がん検診による死亡率の軽減効果は、40歳代で17%、50歳代で23%というデータもあります。

乳がんは、早期に発見されれば治る可能性の高い病気です。

子宮頸がん

子宮頸がんってどんな病気？

子宮がんには、子宮の入口部分にできる「子宮頸がん」と、胎児をおさめる子宮体部にできる「子宮体がん」の2種類があります。

子宮頸がんは、20～30歳代の女性が最も多くかかるがん種で、ヒトパピローマウイルスの感染が主な原因とされており、ウイルスは性交渉で感染することが知られています。

早期治療で

妊娠能力を温存

子宮頸がん検診では、がんの早期発見・早期治療によ

す。乳がんで命を落とさないためにも検診を受けましょう。

子宮頸がん

子宮頸がんってどんな病気？

子宮がんには、子宮の入口部分にできる「子宮頸がん」と、胎児をおさめる子宮体部にできる「子宮体がん」の2種類があります。

子宮頸がんは、20～30歳代の女性が最も多くかかるがん種で、ヒトパピローマウイルスの感染が主な原因とされており、ウイルスは性交渉で感染することが知られています。

早期治療で

妊娠能力を温存

子宮頸がん検診では、がんの早期発見・早期治療によ

がん検診を受けましょう

女性特有の乳がんや子宮頸がんは、女性ホルモンやウイルス感染が関係するため、他のがんと違い、若い世代に多いことが特徴です。

乳がん検診と子宮頸がん検診は、科学的に有効であるとして、厚生労働省が推奨しています。2年に1度は、受診するようにしましょう。

乳がん検診

乳がん検診の内容は、問診、視触診とマンモグラフィ（乳房X線検査）となります。

乳がん検診での視触診は、乳房の大きさや形、ひきつれ、腫れ、皮膚のただれや異常分泌がないかを医師が目視で観察します。

一方、視触診は乳房を実際に触ってみて、しこりがないかを判断します。しこりがある場合は、しこりの大きさ、形、硬さ、表面の状態などを確認します。また、乳房以外にも脇の下や鎖骨の上のリンパ節も調べます。

マンモグラフィは、触診では見逃されがちな小さな乳がんも発見でき、乳がん

んの診断に有効な検査とされています。

検査は専用の装置を使って、乳房を透明なプラスチックの板に挟んだ状態でX線撮影を行い、その画像から乳がんの有無を調べます。また、町では30歳代の方を対象に、超音波（エコー）検査も行っています。

子宮頸がん検診

子宮頸がん検診の内容は、問診、内診、細胞診となります。

細胞診は、子宮頸がんを発見するためのふり分け検査として行われ、検査は子宮頸部付近の細胞を綿棒などでこすりとり、顕微鏡でがん細胞の有無を調べます。

がん化している細胞があるかどうかだけでなく、がんになる前の細胞の異常も見つけることができ、予防の役割もあります。

また、この検査は正常な細胞と比較して評価・診断する前のがん状態（異型細胞）を見つかることもできます。



乳がん・子宮頸がん検診を受けていますか？

乳がん検診は40歳以上の女性に、子宮頸がん検診は20歳以上の女性に、2年に1度ご案内をしています。

乳がんは、がんの中でも5年後の生存率が高く、検診を受け早期に発見することができれば、治療する可能性が高いがんの一つです。

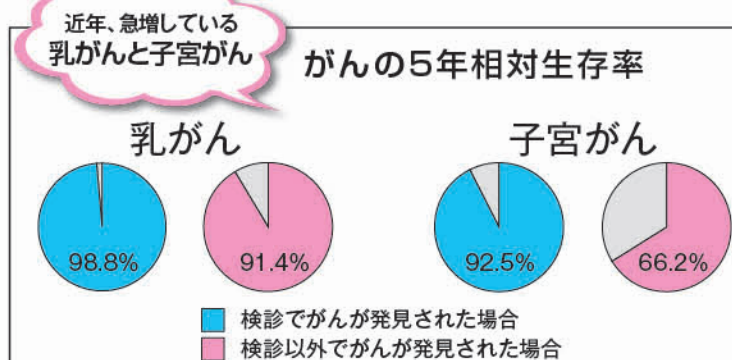
子宮頸がんは、これから妊娠、出産をする世代での発病が増加していますが、早期に発見し、早期に治療を受けることで、妊娠・出産の可能性を大きくすることができます。

同じ女性として、手遅れにならないように受診率を高め、少しでもがんを悲しむ女性を減らしたいと思います。

女性の皆さん、ぜひ乳がん・子宮頸がん検診を受けましょう！



露木和子保健師



乳がんの特徴

- 女性が最も多くかかるがん
- 自分で異変に気がつくことができる
- 罹患率、死亡率が上昇傾向
- 転移、再発しやすい

子宮頸がんの特徴

- 子宮がん全体の約7割を占める
- 30～40歳代に多く、この世代では10万人あたりで10～15人がかかる
- 20歳代で急増中
- 増殖のスピードが非常に遅い
- ヒトパピローマウイルスの感染が原因
- 正常な細胞ががん細胞になる前の変異を診断でき、早期発見しやすい

乳がんの主な症状

- 乳房のしこり（乳がんの大きさが0.5～1cmくらいになると、しこりとして触れることがあります。）
- 乳房のえくぼなど皮膚変化
- わきの下のリンパ節のはれ
- 乳頭分泌
- びらん（皮膚のただれ）
- 腕のむくみ、しびれ など

子宮頸がんの主な症状

- 初期はまったくない
- 進行すると、月経とは無関係な出血が見られたり性行為の際に出血する
- 異常なおりものが増える

～乳がん・子宮頸がん検診のご案内～

集団検診

集団検診とは、あらかじめ決められた日に乳がん・子宮頸がん両方の検査を同時に受けられる検診です。

対象: 乳がん検診は40歳以上、子宮頸がん検診は20歳以上で隔年実施です。

場所: 開成町保健センター

日程: 11月10日(木)、29日(火)、平成29年1月31日(火)

費用: 乳がん検診2,200円、子宮頸がん検診1,200円

※今年度は、骨密度測定（無料）も行います。事前の申込みは不要ですので、ぜひ併せて受診してください。

個別検診

個別検診とは、自分の予定に合わせて指定医療機関で受診する検診です。（平成29年3月31日まで）

乳がん検診			
マンモグラフィ検査	対象:40歳以上	費用:2,700円	
エコー検査	対象:30歳以上	費用:1,300円	
子宮頸がん検診	対象:20歳以上	費用:2,900円	

※今年度の乳がん検診は41歳、子宮頸がん検診は21歳の方に無料クーポン券を送付しています。この機会にぜひ受診してください。